

# 市民の声を市政に

Kirishima City

## 19人がより良い市政を目指して

# 一般質問

霧島市議会 中継 検索

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、19人の議員が一般質問を行いました。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したものです。すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

### 農業振興のために新たな取組を

山田 龍治 議員



**問** 6次産業化の現状と今後の取組、また、10次産業の考えを本市として取り組めないか。

**答** 現在5事業所が、県が設置している鹿児島6次産業化サポートセンターや6次産業化プランナーの支援を受け、農業の稼働向上プロジェクト事業を今年度から開始し、農作物の6次産業化や農工商連携の推進を図っている。10次産業については、4次産業を結びつけることにより高付加価値なものとして競争力が高まると考えていることから、今後は、関連

する機関と連携し取組を進める。

**問** スマート農業の普及と拡大の取組はどうか。

**答** 本市では、鹿児島大学と牧園の農事組合法人霧島第一牧場がプロジェクトを組み、「次世代酪農業トータルスマートファームング」の実証を行なっている。農家の高齢化や担い手不足の深刻化に伴い、作業の労力軽減は喫緊の課題であり、スマート農業の普及拡大に努める。

### 医師会医療センターの今後は

植山 利博 議員



**問** 医療センター施設整備基本計画と、国が示す公立病院再編構想との整合性についてはどうか。

**答** 医療センターの施設整備は、平成28年度に霧島市医療センターあり方検討会を設置し、各関係機関と協議・検討を重ね、平成30年3月に施設整備基本構想を、平成31年3月に施設整備基本計画を策定した。国は、公立・公的医療機関の統合や再編を視野に、この夏にも具体的な医療機関名を公表する予定であり、今後その動向を注視していく。

### 自治会運営の現状と将来展望は

自治会運営の現状と将来展望はどうか。

**問** 少子高齢化、人口減少が進むなか、自治会運営の現状と将来展望はどうか。

**答** 少子高齢化や人口減少により、加入世帯の減少や役員の手不足、コミュニティ機能の低下など困難な課題に直面している。自治公民館連絡協議会などを通じて現状の把握、地域の意見の聴取に努め、実情に応じた、きめ細かな支援策を検討し持続可能な地域づくりを目指す。

### 子ども達の登下校の安全確保を

平原 志保 議員



**問** 小中学校の登下校の安全確保については、多方面においてさまざまな問題がある。問題点と解決方法をどのように考えているのか。

**答** 新年度の開始前に行われる安全点検などからは、信号機やガードレールの設置、区画線等の補修など、ハード面に関する要望が多く挙げられている。可能なところから改善を図っている。

**問** 各学校の危険箇所とその対応が出ている安全マップ情報を霧島市の



カラー舗装化された横断歩道

ポータルサイトで見られるようにできないか。  
**答** すべての学校の安全マップを見られるのは大切なことである。公開できないか協議していく。  
**問** 同じ場所の通学路で交通事故が起こっている。どのような対応をして行くのか。  
**答** 8月の合同調査点検を経て具体的な検討をして行く。

**その他の質問**  
・中高校のひきこもりについて



### ごみ処理は住民本位に

宮内 博 議員



**問** 敷根清掃センター整備計画では、牧園・横川地区を含めた市内全域のごみ処理一本化計画がある。未来館へ個人搬入されるごみは8000台を超える。市民サービスを低下させることなく、ごみ搬入ができるのか。

**答** 牧園・横川地区のごみの直接搬入先を未来館から敷根清掃センターに変更することは考えていない。その費用と効果については、試算していない。住民サービスに影響がある問題であり、丁寧に説明する。

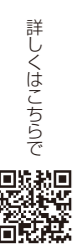
### 山林伐採による災害防止に有効な対策を

重機や大型車両を駆使した山林伐採で、災害の不安が広がっている。曾於市では、山林所有者や事業者の責任を明確化する対策を進めており、この取組に学んだ対応はできないか。

**問** 重機や大型車両を駆使した山林伐採で、災害の不安が広がっている。曾於市では、山林所有者や事業者の責任を明確化する対策を進めており、この取組に学んだ対応はできないか。

**答** 本市でも、一部地域で山肌の露出や土砂流出が見受けられる。適正な伐採を促進するため対策が必要と考えており、本年度中にそれらの基準をつくる協議を進めている。

**その他の質問**  
・幼児教育と保育の無償化問題について



### 担当部門の垣根を越えて市民サービスの向上を

久保 史睦 議員



**問** 学校給食費の未納額はいくらか。教育と福祉一体で取組み、公会計を導入すべきではないか。

**答** 合併から平成30年度までの未納は、4650万5649円である。公会計化は有効と考えるので、国の動向を踏まえ、導入の準備を進める。

**福祉、防災の一元化を**  
**問** 聴覚障がいの方は、外見上わかりにくく誤解を招くことが多い。災害時等の情報共有への不安

は大きな課題である。日常も使える災害時バンドナを導入できないか。

**答** 障がいのある方が有効的に安心して避難できる体制づくりを考える。



長崎県の諫早手話サークル福祉部が作成したバンドナ

**問** コミュニケーション支援ボードの導入を要望したが、進捗はどうか。

**答** 導入へ手続きを進めており、避難所での使用からはじめる。

**その他の質問**  
・本市における登下校防犯プランについて  
・学童クラブと学校、行政、幼稚園・保育園との連携について

